

教科「家庭」

科目名	家庭基礎			単位数	2 単位
学科名	農業	学年	1学年	予定時数	70 時間
1 学習目標	<p>人の一生と家族・福祉、食衣住、消費生活などについて学ぶなかで、基礎的・基本的な知識・技術を習得するとともに、国際化・情報化・生活様式の多様化が進む現代社会において、男女がともに主体的に生活を営み、生活の充実・向上を図る能力と実践的な態度を育成することを目標とする。</p>				
2 指導の重点	<p>衣食住、家族、福祉、消費に関する幅広い知識や技術を身に着けるため、実習を通じて体験的に学ぶ。課題解決力を解決する態度を養い、一人の社会人としての自立を促す。</p>				
3、学習内容					
【1学期】	<p>1 自立するとは？ (1)生き方の多様性と人生(2)青年期と自立(3)性的自立と人間関係 (4)生活的自立と社会的経済的自立</p> <p>2 多様化した社会を生きる (1)社会の変化と家族の変化 (2)家族の現状と課題(3)家族をめぐる法律 (4)多様な生き方 パートナーシップの保障(5)生活時間と仕事の現状と課題</p> <p>3 選んで着る (1)衣服の選択 (2)衣服のトラブル(3)衣服の材料(4)衣服の管理 (エプロンの制作) (5)衣服の生産流通廃棄(6)衣服の機能とこれからの衣服</p>				
【2学期】	<p>4 楽しく安全に食べる (1)人と食物のかかわり (2)栄養と食品 (3)栄養素のはたらきと食品の栄養 (4)食品の選択(5)食品の取り扱い(6)食事計画(7)食品の安全性(8)食料の輸入と生産</p> <p>5 消費社会を生きる (1)情報化・グローバル化する消費生活 (2)情報化と消費生活(3)広がる経済社会と消費生活 (4)収入と収支の管理(5)貯蓄負債と家計管理(6)契約と消費者信用(7)電子取引と問題商法 (8)消費者の権利と救済の仕組み(9)意思決定の重要性と消費者の権利 (10)環境と公正</p>				
【3学期】	<p>6 住生活をつくる (1)住環境の意味(2)住まいの選択 (3)ライフスタイルと間取り (4)住まいの安全安心(5)環境と住まい (6)バリアフリー (5)持続可能な住まい</p> <p>7 子どもと生きる (1)子どもの保育の場(2)子どもの権利(3)社会地域の子育て支援</p> <p>8 支えあい共に生きる (1)社会保障の必要性 (2)日本の制度 (3)高齢者福祉 (4)貧困と貧困対策 (5)福祉理念</p>				
教科書	家庭基礎 気づく力 築く未来 (実教出版)				
副教材	フード＆クッキング (実教出版)				
備考	被服実習、調理実習の実施				

評価基準				
評価項目・対象	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力	評価比重
学習姿勢			◎	20%
実習	○	◎	○	30%
製作物	◎	○		20%
定期考查	◎	○		30%
評価の重点	課題解決のため思考を深め、工夫・創造し、自分の考えをまとめ、判断する力がついたかという観点で、実習やグループワークへの参加やまとめレポートの内容を重点的に評価する。			